平成29年度募集さきがけ研究提案書

(さきがけ - 様式1)

**様式の記入に当たっては「記入要領」を必ずご確認ください。**

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

区分４

|  |  |
| --- | --- |
| 応募研究領域名 | 計測技術と高度情報処理の融合によるインテリジェント計測・解析手法の開発と応用 |
| 研究課題名 |  |
| 個人研究者氏名 |  |
| 所属機関・部署・役職 |  |
| 研究者番号 |  |
| 学歴  (大学卒業以降) |  |
| 研究歴  (主な職歴と  研究内容) |  |
| 個人研究者の情報 | URL: |
| 希望する研究費 | 全研究期間での研究費希望総額 (　　　　　　万円) |
| 希望する参加形態 | □兼任　　　□専任 |
| 本提案のエフォート | 今年度：　　％ |
| 研究実施場所に  ついての希望 | □現所属機関  □その他(研究実施場所：　　　　　　　　　　　　　　) |

|  |  |
| --- | --- |
| 本提案のアプローチ | (様式1別紙) |
| ① 新たに捉えようとする計測対象 | |
| ＜記載例＞ 界面現象のダイナミクス、強相関系物質、生体組織、タンパク質等。物質でも現象でも物理量でも構いません。 | |
| ② 融合対象となる情報科学・統計数理的な方法論 | |
| ＜記載例＞機械学習、画像解析、データ同化、スパースモデリング | |
| ③ 融合対象となる計測・解析技術 | |
| ＜記載例＞ラマン分光計測、X線自由電子レーザー、電子顕微鏡、Webカメラ、天体望遠鏡、DNAシーケンサ等 | |
| ④ 情報科学・統計数理的な観点からの領域への貢献 | |
| ＜記載例＞本領域では、情報科学・統計数理の手法と計測・解析技術の高度融合を目指し、研究領域全体へ貢献いただくことを求めています。ご自身あるいはチームメンバーが有する情報科学・統計数理の専門性に基づく共同研究の可能性、勉強会等の啓蒙の機会提供など、なにか具体的なアイデアがあれば、記載をお願いします。  　また、特に情報アプローチを提案する場合、計測と異なる境域であっても異分野融合研究や共同研究の経験がある場合は、その情報を記載してください。また，特に情報アプローチを提案する場合，計測と異なる領域であっても異分野融合研究や共同研究の経験がある場合は，その情報を記載してください。 | |

**様式1別紙　は　１ページ以内＜厳守＞**

本提案のアプローチの欄には、（I）融合アプローチ、（II）情報アプローチのいずれかを記入してください。

①～③については、簡潔に記してください。④については、なるべく具体的に記載ください。

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

# 研究提案の要旨および研究提案者の主要業績

(さきがけ - 様式2)

## 1．要旨

**2．主要論文・招待講演等リスト**

(さきがけ - 様式2)

**(1) 主要論文リスト**

**(2) 主要招待講演リスト**

# 研究構想

(さきがけ - 様式3)

## 1．研究のねらい

## 2．研究の背景

## 3．研究の独創性・新規性および類似研究との比較

## 4．研究内容

(さきがけ - 様式3)

## 5．研究の将来展望

## 6．用語の説明

# 論文・著書・特許リスト

(さきがけ - 様式4)

## 1．主要な論文・著書等

## 2．参考論文・著書等

## 3．主要な特許

# 他制度での助成等の有無

＜ご注意＞

(さきがけ - 様式5)

・記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

・現在申請中・申請予定の研究助成等について、この研究提案の選考中にその採否等が判明するなど、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、この募集要項巻末に記載されたお問い合わせ先まで電子メールで連絡してください。

・面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **制度名** | **受給**  **状況** | **研究課題名**  **(代表者氏名)** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究費**  **(期間全体)**  **(2) 〃 (H29年度 予定)**  **(3) 〃 (H28年度 実績)** | **ｴﾌｫｰﾄ**  **(％)** |
| さきがけ | 申請 | 本提案。右側にエフォートを記入すること。 | | | |  |
|  |  | () |  |  | **(1)** 千円  **(2)** 千円  **(3)** 千円 |  |
|  |  | () |  |  | **(1)** 千円  **(2)** 千円  **(3)**千円 |  |
|  |  | () |  |  | **(1)** 千円  **(2)** 千円  **(3)**千円 |  |

# 人権の保護および法令等の遵守への対応

(さきがけ - 様式6)

# 照会先・その他特記事項

## ○ 照会先

(さきがけ - 様式7)

## ○ その他特記事項

**提出前確認シート（※本シートは削除し、提出しないでください。）**

(さきがけ – 別紙)

**○ 締切に十分余裕を持ってご確認ください**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 主な確認ポイント | | 詳細 | チェック欄 |
| e-Radに研究者登録が済んでいるか | | 「第10章」(319 ページ) | □ |
| 研究倫理教育に関するプログラムを修了したか | | 「8.1章」(292 ページ) | □ |
| 研究総括と利害関係がないか**※** | | 「5.1.1」(107 ページ) |  |
| a | 研究総括と親族関係にある。 | | 該当なし□ |
| b | 研究総括と大学、国立研究開発法人等の研究機関において同一の研究室等の最小単位組織に所属している。あるいは、同一の企業に所属している。 | | 該当なし□ |
| c | 現在、研究総括と緊密な共同研究を行っている。または過去5年以内に緊密な共同研究を行ったことがある。(緊密な共同研究の有無は、例えば、共同プロジェクトの遂行、研究課題の中での研究分担者、あるいは共著研究論文の執筆等、それぞれの内容から判断します。不明な点があれば問合せください) | | 該当なし□ |
| d | 過去に通算10年以上、研究総括と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にあったことがある。“密接な師弟関係”とは、同一の研究室に在籍したことがある場合を対象とします。また所属は別であっても、研究総括が実質的に研究指導を行っていた期間も含みます。 | | 該当なし□ |

**※**利害関係で明確に判断し難い項目が1つでもある場合には、必ず利害関係問い合わせ様式(<https://securekisoken.jst.go.jp/h29youkou_form.doc>)をダウンロードして必要事項を記載の上、ファイルを添付して送付先までお問い合わせください（送付先：rp-info@jst.go.jp）。

**○ 提出期限について**

締切間際はe-Radのシステム負荷が高く、応募に時間がかかる、完了できない等のトラブルが発生しています。時間的余裕を十分に取って、応募を完了するようお願いします。

**○ 各様式について**

提案書については漏れがないかチェックの上、提出してください。なお、提案書に不備がある場合には不受理となる可能性がありますので、ご注意ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項目 | 主な確認ポイント | チェック欄 |
|  | e-Radへのデータ入力 | 記載漏れがないか。 | □ |
| 様式1 | 研究提案書 | 記載漏れがないか。  e-Rad入力データとの不整合はないか。 | □ |
| 様式2 | 研究提案の要旨および研究提案者の主要業績 | PDFに変換された状態で、1.の部分は2ページ以内、2.の部分は1ページ以内か。 | □ |
| 様式3 | 研究構想 | PDFに変換された状態で、A4用紙6ページ以内か。 | □ |
| 様式4 | 論文・著者・特許リスト |  | □ |
| 様式5 | 他制度での助成等の有無 | 記載漏れがないか。 | □ |
| 様式6 | 人権の保護および法令等の遵守への対応 | 該当しない場合にも、その旨記述したか。 | □ |
| 様式7 | 照会先・その他特記事項 |  | □ |